

山梨県立大学の講義は

高校生でも

受講できるんです！

大学生って、
大学の先生って、
どんな表情が気になりますか？

募集

願書受付期間：

2024年2月5日(月)～3月8日(金)

※後期科目は7月～8月頃に受付を行いますので、HPでご確認ください。



ここがポイント
本学入学後に
単位に認定

入学後に申請すると既修得
単位として認定されます。



ここがポイント
学内施設が
利用可能

ひと足早く大学生活を体験
することができます。



ここがポイント
大学での
時間に余裕

入学後に将来のキャリアに
ついて考える時間を増やす
ことができます。



ここがポイント
本制度の
入学料免除

1単位7,400円の授業料
で学びの場を広げることが
できます。

お問合せ

山梨県立大学 社会連携課

〒400-0035

山梨県甲府市飯田5-11-1

TEL：055-225-5412



令和6年度 高等学校等に在学する者に関する 科目等履修生について（前期募集）

出願書類：高等学校等に在学する者に関する科目等履修生入学願書

※在学する高等学校等の長の推薦が必要です。お早めにご準備をお願いします。

受講料：7,400円（税込） / 1単位（入学検定料・入学料は免除します。）

NO.	科目名	担当教員	科目の内容
1	VUCA時代のキャリアレジリエンス	水上篤/杉山歩	現代は先の見えない時代(VUCA時代)と呼ばれるようになりました。VUCA時代においては、自らのキャリアを形成していくに際して、様々な困難に直面していくことが予想されます。本科目では、社会の変化にシなやかに対応していくためのマインドのあり方、手法について学びます。
2	グローバルマインドとスキル	嶋津幸樹	英語「を」学ぶのではなく英語「で」自分のことと世界のことを探究することで、新しい視野や価値観を手に入れ、最終発表では探究したい教養テーマを自分の人生ストーリーと融合させ、5分間のプレゼンテーションで表現します。
3	地域の豊かさ	今井久	「山梨県」の特徴ある地域資源に注目し、それらと豊かさを関連付け、山梨県の豊かさがどのようなものなのかを考えていきます。「エコロジカル・フットプリント」「健康寿命」「ものづくり」「農業」「ワイン」「水」の6つに注目し、山梨県におけるそれらの位置付けと、それぞれがどのように地域の豊かさに関連しているのかを考察します。
4	問題発見の技法	佐藤文昭	「デザイン思考」と「システム思考」の考え方にに基づき、統計データやインタビューなどを通じて一人ひとりの興味関心を深めることにより、これからの時代を生き抜く上で必要な「問いを立てる力」を身に付けることを目的とします。
5	U理論と自己理解	佐野信也/杉山歩	VUCA時代においてより良い社会づくりの為の変革を起こすには、起きている事象をとらえるだけでなく、事象を作り出している社会の本質（文化・潮流・パワーバランスなど）を見抜く力が必須となってきます。U理論というものを理解し、社会の変革を起こす力を見出していきます。
6	地域資源の保全と活用	堀内久雄/杉山歩	持続的な観光開発には自然環境、文化資源を保全しながら開発を進めていく必要があります。本科目では自然や文化の保全と観光をどのようにバランスさせていくかについて理解してもらうことを目的とし多彩なゲスト講師をお招きし、実際に行っている活動についてお話を伺いながら、自らどのように行動していくのかを考えます。
7	地域しごと概論(経営マインド)	手塚伸/今井久	ものづくり現場の経営者や支援者が、仕事の理念、これまでの好機・危機、未来への戦略、VUCA時代を生き抜くための考え方を語ります。経営者の現場の生の声や受講者への期待を通して、山梨県産業の多様さ・奥深さを理解するとともに、現実の仕事を実感することで今後のキャリアを構想するに当たっての基本的な知識や精神的な糧を得ます。
8	トレンド予測の手法	家安香/手塚伸	不確かな時代にあっても、中長期的なトレンドを如何に予測していくか、これをもとにどのような未来戦略を描いていくかに関し、有効な知識とスキルを習得することを目的とします。
9	多文化共生地域課題2 (多文化社会における対人援助/外国人と人権)	新居みどり/長坂香織	多文化化する地域における外国人住民の現状を知り、その諸課題について理解します。世界につながる地域社会の一員として、多文化共生社会の実現にむけた方途について考察し実践する力を身につけます。
10	多文化共生の現場を歩く	長坂香織	多文化共生に関わる現場に足を運び、実際に見て、その現場の方の話を聴くことを通じて、多文化共生の現状と課題を肌で感じ、理解します。また、それらの課題解決に向けた現場の対処について学び、多文化共生を自分事として考える姿勢を身につけます。
11	アイデア共創実践	戸田達昭/杉山歩	自分がどのような社会を作っていきたいのか、ということを通じた実践を通じて実現するのが起業です。多くの先輩起業家や専門家たちをメンターとして迎え事業をデザインしていく方法とそれを相手に伝える方法(プレゼンテーション)を学び、実践することを目的としています。
12	社会と政治	申龍徹	社会制度として政治が生まれ、どのように変化してきたのかを歴史の中から学びるとともに、現在の社会における様々な政治課題について理解を広げる。
13	災害支援	渡邊裕子 他	災害の定義と分類、災害のサイクルから災害の基本について学びます。また、災害サイクルと各期に応じた援助(ボランティア活動を含む)の実際、トリアージの基礎的な知識を学びます。
14	簿記論 ※国際政策学部に入学者に単位認定の申請が可能	石山宏	商業に必須の手段たる簿記(bookkeeping)は、万国共通の経済原語というべき存在です。将来米国で暮らそうとするならば英語の習得が必須であるのと同様に、将来ビジネスシーンで活躍しようとするならば簿記の習得は必須です。本科目では、初級簿記の全体を学びます。
15	ケア概論 ※福祉コミュニティ学科に入学者に単位認定の申請が可能	前川有希子	ケアを必要とする高齢者・障がいのある人が尊厳ある生活を送る人であるという視点を理解し、自立支援を援助する意義を学びます。支援に関する知識を自分の言葉で説明できるようになることを到達目標とします。

No.1~11は、学生と社会人の垣根を超えた実践的教育プログラム「PENTAS YAMANASHI」の科目です。

授業内容等については、下記ホームページのシラバスを参照してください。

<https://www.yamanashi-ken.ac.jp/exam/course-students/>

